

1号機

現時点での特記事項なし

2号機

- 1月8日1、2号機原子炉への注水源を3号機復水貯蔵タンク(以下、CST)から2号機CSTへ変更する操作をしていた。同日午前11時49分頃、2台ある2号機CST原子炉注水ポンプの切り替え操作(B系 A系)をしていたところ、ポンプの吐出圧力が上昇し、2台のポンプが自動停止。ただちに(午前11時50分頃)2号機CST原子炉注水ポンプ(A系)を起動し、必要注水量1.1m³/hに対して、1.7m³/h以上確保されていることを確認。プラントパラメータ(注水流量および原子炉圧力容器底部温度等)およびモニタリングポストの指示に異常はないことを確認。ポンプが停止した原因等、現場状況を確認する。
また、本トラブルにあたっては、午前11時49分、実施計画第1編第18条(原子炉注水系)表18-1で定める運転上の制限「原子炉の冷却に必要な注水量が確保されていること」を満足できないと判断するとともに、CST原子炉注水ポンプ(A)を起動したことにより、必要な注水量が確保されていることを確認し、午前11時54分、運転上の制限から復帰したことを判断した。

3号機

- 3号機原子炉格納容器ガス管理設備については、当該設備の制御盤二重化工事に伴い、1月17日午前9時31分から特定原子力施設に係る実施計画「特定原子炉施設の保安」(以下、「実施計画」という。)第1編第32条第1項(保全作業を実施する場合)を適用し作業を開始。同日午後0時53分に作業が終了。その後、当該設備の動作確認において異常がないこと、および短半減期核種モニタの指示値に有意な変動がないことから、同日午後2時5分に実施計画第1編第32条第1項(保全作業を実施する場合)の適用を解除。なお、当該設備の停止期間における関連監視パラメータについては、異常なし。

4号機

現時点での特記事項なし

5号機

現時点での特記事項なし

6号機

現時点での特記事項なし

水処理装置および貯蔵設備の状況

[タンクパトロール結果]

現時点での特記事項なし

[H4、H6エリアタンクにおける水漏れに関するサンプリング結果]

現時点での特記事項なし

[地下貯水槽に関する水のサンプリング結果]

現時点での特記事項なし

[セシウム除去設備]

現時点での特記事項なし

[多核種除去設備(ALPS)]

現時点での特記事項なし

[増設多核種除去設備]

現時点での特記事項なし

[高性能多核種除去設備]

現時点での特記事項なし

[淡水化装置]

現時点での特記事項なし

[RO濃縮水処理設備]

現時点での特記事項なし

[RO濃縮廃液タンク水処理設備]

現時点での特記事項なし

[その他]

現時点での特記事項なし

サブドレン他水処理施設

以下、排水実績のみ記載。

<排水実績>

- 一時貯水タンクA 1月1日午前9時53分～午後0時26分。排水量378m³
- 一時貯水タンクB 1月3日午前9時59分～午後0時50分。排水量425m³
- 一時貯水タンクC 1月4日午前10時1分～午後0時30分。排水量369m³
- 一時貯水タンクD 1月6日午前9時59分～午後0時23分。排水量356m³
- 一時貯水タンクE 1月7日午前10時12分～午後0時29分。排水量340m³
- 一時貯水タンクF 1月9日午前10時1分～午後0時13分。排水量328m³
- 一時貯水タンクG 1月10日午前9時56分～午後0時11分。排水量332m³

- ・一時貯水タンクH 1月12日午前10時～午前11時30分。排水量221m³
- ・一時貯水タンクJ 1月13日午前10時16分～午後0時28分。排水量326m³
- ・一時貯水タンクK 1月15日午前10時7分～午後0時11分。排水量305m³
- ・一時貯水タンクL 1月16日午前11時2分～午後1時7分。排水量308m³
- ・一時貯水タンクA 1月18日午前10時7分～午後0時14分。排水量314m³

<特記事項>

現時点での特記事項なし

地下水バイパス

以下、排水実績のみ記載

<排水実績>

- ・一時貯留タンクグループ3 1月11日午前10時5分～午後5時31分。排水量2,053m³
- ・一時貯留タンクグループ2 1月16日午前9時49分～午後5時20分。排水量2,057m³

<特記事項>

・1月15日午前10時12分頃、H3東エリアの地下水バイパス一時貯留タンクグループ1-1周辺に水たまり(底辺約10m×高さ約20m×深さ約10cmの三角形)があることを協力企業作業員が発見。地下水バイパスでくみ上げた地下水以外の可能性がないかも含め、現場状況を確認中。

その後、水たまりはH3東エリアの外堰の外側にあり、付近に側溝がないことを確認。また、地下水バイパスの移送配管ならびに付近にある堰内にたまった雨水を移送する配管の外観に異常がないことを確認。水たまりの汚染状況を確認したところ、バックグラウンドと同等(100cpm)、塩分濃度が0%、pH測定値が8.3だった。

水たまりの放射能を分析した結果は以下のとおり。

- ・セシウム134 検出限界値未満(検出限界値:0.6 Bq/L)
- ・セシウム137 1.9 Bq/L
- ・全ベータ 16.5 Bq/L

水たまりの水を回収するとともに、引き続き、当該水の発生原因等を調査する。

【1～4号機サブレン観測井のサンプリング結果】

<特記事項>

現時点での特記事項なし

【1号機放水路のサンプリング結果】

<特記事項>

現時点での特記事項無し

その他

【陸側遮水壁】

現時点での特記事項なし

【雑固体廃棄物焼却設備】

現時点での特記事項なし

【その他設備の不具合・トラブル】

現時点での特記事項なし

【けが人・体調不良者等】

現時点での特記事項なし

【その他】

・メガフロート津波等リスク低減対策工事に伴い、起重機船が港湾内に入港する際、1～4号機取水路開渠前に設置したシルトフェンスを開閉(1月9日午前11時42分にシルトフェンス開、午後1時にシルトフェンス閉)。なお、シルトフェンスは二重に設置しており、一方のシルトフェンスは、1月8日から1月10日の期間解放する。(天候により順延する可能性あり。)